

## 会員会社紹介

## 株式会社アステム

佐藤 至



株式会社アステムは、今年で創業41年を迎えます。  
(昭和49年12月31日設立)

創業当時は、音響を中心としたイベント事業を主な業務としておりましたが、イベントに参加されるより多くの人々にメッセージを伝えるために、地上回線や、衛星回線による映像伝送を取り入れるなど、常に新しい技術を取り込んできました。

中でも、阪神淡路大震災での情報保障のあり方、とりわけ放送番組への保障と独自情報な発信を教訓に誕生した「目で聴くテレビ」では、遠隔地でのリアルタイム字幕制作と手話映像画面と地上波画面との合成表示(現在のデータ放送画面と同じL字型の画面構成)を可能とするSTBの開発など技術的に協力してきました。

—昨年、本技術が、国際電気通信連合 (ITU) において、アクセシビリティのユースケースとして紹介されたことを契機に、これまでご協力いただいた大学や企業のご尽力により、既存規格に加えて、アクセシビリティの標準化としてIPTV H.702が勧告されることとなりました。

字幕や手話が付与されていない映像情報に対して、その情報発信の主体が字幕や手話が付与されていなくても、異なった場所にある字幕データや手話映像をもとの映像と関連付けることにより、表示のオンオフ、表示位置は大きさ等を変えることができるようにすることが規格化されました。

この技術は、国連の障害者権利条約に基づく合理的配慮への対応だけでなく、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けてのインバウンド対応や、今後のダイバーシティにむけてのビジネスチャンスを開くものと考えております。

弊社は、「メッセージによる感動を大切にする」を企業の原点としています。イベントや会議等でも手軽に実施できる字幕や手話、音声解説の実施。IPTVをはじめとする媒体への情報保障などを新しい技術を取り入れ事業化、ビジネスとして発展させていきたいと考えております。そして、全ての人々に情報が伝わる社会、アクセシビリティが保障される社会の実現に貢献していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。